

目的

空き家は亡くなった方が残した負の遺産です。適切な知識や情報を得られないことにより、これからもますます多くの方が負の遺産を残していくとしたら、社会が管理されない空き家だらけになり、住みづらい街になってしまいます。

本事業では、高齢者支援施設等と連携し、適切な情報を得ること・コミュニケーションをすることの大切さを伝えます。

終活は、空き家の発生を防ぐという観点から、未来の社会に役立つ作業と言えます。

空き家を発生させないための情報を発信し、空き家を発生させないためのサポートを行います。

取組内容

○ 終活相談会の開催

不動産所有者が抱える不安や疑問点に対して回答し、また、不動産の売却や活用方法についてアドバイスを行いました。

法律専門家・税務専門家・不動産専門家同席により多角的な見地から有効と考えられるアドバイスをしました。

○ 高齢者支援施設等との連携

高齢者への支援等を行う団体・事業者に対して集合施設での終活相談会開催の働きかけをしました。高齢者支援施設にとっても、利用者同士の交流きっかけとなりました。



成果

○ 空き家の売却

再建築不可等の理由で価値が低いため不動産会社から相手にされなかった空き家の売却を実現しました。当該空き家は低所得層向けの一般住宅として再活用されました。

○ 空き家の遺贈

本事業では多くの高齢単身者の方から相談を受けました。

法定相続人不存在の方に対して、遺言書作成サポートを行い、将来所有不動産が慈善団体に遺贈されることで空き家が発生しないように調整することができました。

